

令和3年度 高野地区町政懇談会

開催日時 令和3年7月14日（水）午後7時～午後8時

開催場所 高野公民館 2階大研修室

出席者 立山町 舟橋町長、酒井副町長、大岩教育長、
青木総務課長、野田農林課長、安川建設課長、青木教育課長、
清水健康福祉課長、成瀬住民課長、瀬本美しいまちづくり推進室長、
石黒建設課道路施設維持係長、高見教育課教育企画係主任技師
地元議員 村上議員、澤井議員
高野地区区長会 島田会長
企画政策課 林課長、中川課長補佐、高田係長、松本主任、海老原主事、橘主事
参加者数 28名（うち町職員11名）

1 挨拶 町長挨拶

2 懇談会

(1) 町からのお知らせ

- ①第10次立山町総合計画について（企画政策課長から説明）
- ②防災センター・児童館整備について（企画政策課長から説明）
- ③高野小学校の忠魂碑について（教育課長から説明）

(2) 高野地区協議事項

（島田会長）

①高齢者世帯の除雪支援活動に伴う集落への助成制度について

地区の高齢化に伴い、集落全体での共助の重要性が喫緊の課題となっている。

町では、「ひとり暮らし高齢者等除雪支援事業」が令和3年2月から拡充されたところだが、あくまで各世帯に対する助成を基本とする制度となっている。

この事業を集落単位で活用できるよう制度拡充の余地があるか聞かせてほしい。

（健康福祉課長）

町では、高齢者の除雪支援として、「ひとり暮らし高齢者等除雪支援」を実施している。

これは、概ね65歳以上の高齢者のみ世帯のうち、住民税非課税世帯に対し、屋根の雪下ろしにかかる経費を1回当たり20,000円までを限度に、助成するものである。昨年度は、24世帯、計27回の利用があった。本年度は、昨年度の豪雪を踏まえ、利用回数を年2日から年3回までに、除雪の対象を「屋根の雪下ろし」から「住宅周辺の除雪」までと拡大しており、ご要望の「世帯単位」から「集落単位」への拡充は考えていないことをご理解いただきたい。

なお、「集落単位」の除雪支援としては、町では「小型除雪機配備事業」を行っており、これは、希望する集落に対し、町から「小型除雪機」を配布し、集落の皆さまで高齢者住宅の除雪などにご利用いただくものである。平成30年度から事業を開始し、これまで13台を配備している。

町は、これら「世帯単位」と「集落単位」を組み合わせ、高齢者の除雪体制づくりに努めていることにご理解いただきたい。

②高野地区の大規模営農化の可能性について

高齢化により、担い手不足や、個人による水稻栽培の限界が差し迫っている。町当局やJA等の指導、参画による大規模営農化の具現の可能性について聞かせてほしい。

(農林課長)

将来的な営農体制の継続に向けて、国や県では、意欲ある担い手の育成と経営強化が必要として、農業経営体の法人化、農地集積の促進による規模拡大、経営の複合化などに必要な農業機械等の導入支援などを進め、担い手の経営基盤の一層の強化を図る方針を定めている。

高野地区において、農業の担い手の多くは個人農家であり、集落営農型の法人や農業法人は1法人ずつとなっている。

一方、他地区においては、複数の集落で集落営農型の法人が設立されたり、個人農家が農業法人を設立されたりし、農地の集積による規模拡大を図っている。

また、農業経営の法人化により、経営者としての意識改革が進むことや、就業条件が整備され、後継者の選択範囲が広がることなどのメリットがある。

ご質問の高野地区の大規模営農化の可能性については、町としても意欲のある農業者の方々に、集落単位や地区単位で大規模営農組織を設立いただけることを期待している。組織化に向けて具体的に検討している集落や組織化の中心になる方がいらっしゃる場合は、町や県、アルプス農業協同組合で組織化に向けてサポート体制を構築していくので、町農林課までご連絡、ご相談いただきたい。

③高野小学校大規模改修の概要及び災害時の校舎の活用について

高野小学校の大規模改修の概要について、また、災害時の避難場所としての活用、用途について聞かせてほしい。

(教育課長)

高野小学校校舎については、昭和56年の建立より40年が経過し、老朽化が進むとともに、修繕等にかかる維持管理費も増加してきている。令和元年度の高野小学校と日中上野小学校の統合に伴い、校舎の大規模改修を行い、児童の学習環境の充実につなげたいと考えている。

5月に工事契約を締結し、令和4年3月25日までを工期として、工事を進めていく。工事内容は、外部については、外壁の改修と駐車場舗装のやり替え、内部については、天井、壁、床の改修や、照明のLED化を予定している。

工事期間中の教室については、ランチルームに仮設教室を3部屋設置し、工事範囲ごとに、仮設教室を通常の教室として利用する。また、夏休み期間中には、階段や児童玄関の改修を集中的に行う予定である。

地区の皆様には、改修工事期間中、ご迷惑をおかけするが、安全第一で進めていくので、ご協力いただきたい。

災害時の避難場所としての活用、用途については、高野小学校は、立山町地域防災計画において、町内に49箇所ある指定避難所のひとつとしており、避難スペースとしては、屋内運動場、普通教室、並びに特別支援教室を想定している。

これまで同様、地震や台風が発生の際には、高野地区の皆様が避難できるよう、屋内運動場をはじめ、緊急時には普通教室や特別支援教室も避難所として開放、運営する。

④空き家の増加に対する町の考えについて

近年、どの地区においても空き家が多くあるように見受けられる。防犯や倒壊ならびに野生動物のすみかになったりすることもある。春先に町の空き家調査があったが、町として、どのような考えなのか聞かせてほしい。

(美しいまちづくり推進室長)

「立山町環境美化の推進に関する条例」を令和3年4月施行で改正し、防犯・防災の観点を追加した。この改正により、関係機関や自治会などへの情報提供等の協力依頼が可能となり、野生動物の侵入や、不法侵入による犯罪の温床となる恐れに対し、早い段階から所有者に指導できるようになった。

また、平成27年に施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、町では町民の安全を守り、安心した生活環境を確保するために、空家等対策計画の策定や空き家条例の制定など、空き家対策を進めてきた。

この、空き家対策の基となる資料として、町内に存在する空き家のデータベースを作成するために、これまで2回、空き家実態調査を実施し、平成28年度の前回調査では、町内に379件の空き家があることを把握した。

今年度、第3回目の空き家実態調査を実施している。この調査で把握した空き家のうち、危険なものについては所有者等に対する指導等により、空き家の適切な管理を促す。また、使用可能と思われる空き家については、所有者の意向を伺いながら、町が運用する空き家情報バンクへの登録を促すなど空き家の利活用を促進し、使われていない空き家の解消に取り組みたい。

(3) 自由意見

- 今年の大雪の際、隣近所の高齢の独居世帯等への除雪を地区で協力して行った。町の除雪費用の補助もあるが、金額面やすぐに来てもらえないとのことで、近所の方が除雪していたと聞いた。そういったこともあり、除雪に協力された方へのお礼は集落で補助している。南砺市では、地域ぐるみの除雪に市が助成していると聞いた。

年々高齢者が増えており、近所で助け合って除雪しているが、いつまで続けられるかわからない。そのため、地域ぐるみで除雪の支援体制を整備していく必要があると考える。町からは補助金云々でなくサポートいただきたいが、いつ、どの段階で町の方から援助を得ることができるのか。

(健康福祉課長)

町では、小型除雪機を準備し、地域で除雪していただける体制を整えていきたいと考えている。全地区に小型除雪機配備の意向調査を行う予定であり、ぜひこの制度をご活用いただきたい。また、今回のような大雪の際の町の体制について、再度検証が必要だと考えている。いつ、どの段階から町が支援できるかについては、町全体の問題でもあり、高齢化率等を踏まえて検討していきたい。

南砺市の例については調べさせてもらいたい。

- 1. 新型コロナウイルスのワクチン接種について、一人暮らし等で予約の仕方がわからない高齢者がいる。そのような方を町で細かく拾って、支援してあげてほしい。
- 2. 高野小学校の忠魂碑を10月に取り壊すという話を今初めて聞いた。地区の住民にきちんと説明した上で進めてほしい。
- 3. 立山インター付近の開発や沢新地区のS字カーブの改修など、町全体のビジョンの中で高野地区の発展について、町長の意見が聞きたい。

(教育課長)

忠魂碑に関して、令和3年1月16日付で高野地区区長会から要望を受け取っている。忠魂碑が老朽化し、蜂が巣を作っており、今後の維持管理について相談があった形になる。町としては、解体又は祈念碑の整備ということをご提案した。地区遺族会などの意見も踏まえて、当時の区長会長から町の予算で解体して綺麗にしてもらいたいという意思表示があり、今回の工事に至った。

(町長)

新型コロナウイルスのワクチン接種について、現時点で65歳以上の一回目接種者は全体の88%、二回目は84%である。町としても、機を逸した人がいるのではないかと思い、キャンセル待ちに登録していた高齢者の方に優先的に接種する手配をしている。

また、そのような方がいる場合は教えてほしいと民生委員さんにも声がけをしたところである。まだ予約できていない高齢者の方がいれば、役場の健康福祉課に情報提供をしてほしい。

立山インター付近の開発については、企業から問い合わせがあれば順次ご案内をしている。地権者等と内々に交渉している案件もあるので、これからも誘致に努めていきたい。

(建設課長)

県道富山立山公園線のS字カーブについては、県の方でも管内のバランスや予算の関係から着手しづらいと聞いている。町としては、引き続き地区の要望を県に伝えていきたい。

- 先日、千葉県八街市で子どもたちの尊い命が失われる交通事故があった。高野地区内でも2メートルの歩道がない場所があり、特に県道から対処してもらいたい。栃津川の橋の東西が特に危険である。

(建設課長)

町では、毎年通学路の合同点検を行っている。県、町、学校、警察が通学路の危険箇所を把握し、それぞれの管理者が共通認識をもって対策にあたることとしている。

町の予算において、路肩のカラー舗装化を進めている。今回の事故を契機に、危険箇所について改めて確認していきたい。

県道日中五百石線の栃津川にかかる橋の手前の歩道整備については、県も危険箇所だと認識しているが、地元関係者の理解が得られず現状のままだと聞いている。引き続き、県の方に地元の声を伝えて働きかけていきたい。

- 熱海市の土砂災害の盛土問題を受けて、町では盛土地域を把握しているのか。

(町長)

町内には盛土地域はないと認識しているが、県から土砂災害警戒区域に指定されている場所があり、その区域に住宅を新築する際は、規制がかかるようになっている。町としては、大雨の際は町職員がパトロールをしている。県の事業でも砂防ダムを作っており、町からも継続して要望している。今後とも、引き続き土砂災害警戒区域を注視していきたい。

(町長)

昨今の報道にあるとおり、新型コロナウイルスのワクチンが不足してきており、予約枠が少なく大変なお叱りをいただいている状況である。お盆まではこのような状態が続くと予想している。町としては、在庫を残さないよう接種を進め、すみやかに国に報告してワクチンを確保するという作業を進めている。お盆明けには落ち着くと思っているので、それまでしばらくご迷惑をおかけするが、ご理解を賜りたい。

3 閉会

島田会長、村上議員、澤井議員挨拶

終了